

JMAT チーム編成について

村上市岩船郡医師会長

澤 田 洋 一

今回の大震災では、県医師会のJMATチームが被災地へ継続的に派遣され活躍されています。当医師会でも4月始め、緊急理事会を開き、JMATへの参加を検討致しましたが開業医が日常診療を休み、チームを編成し派遣まで持つて行く事は至難の業と思われました。災害の経験のない者が集まっていくら議論しても話が前へ進みません。「医師が個人的に救難活動のために現地へ赴くのはできるかもしれませんが。」程度の結論しかでませんでした。日医のJMAT構想の中でのアンケート調査で、当医師会はマンパワーの不足からチームの編成は無理であるとの結論をだしています。しかし今回、全国各地からJMATチームが続々と被災地に集まり、救護活動を続けています。

今回の経験から実際に被災地で救護活動を行なった先生方を講師に迎え、チームの編成、準備、仕事の内容等を県医師会レベルで詳細かつ具体的に説明して頂ければ、各地域での開業医によるJMATチームの編成がすすむのではないかと思います。チームの編成も診療所単位、地区医師会単位、県医師会単位等いろいろあると思います。県医師会単位でチーム編成を行なって頂ければ、医師個人での参加も可能となるでしょう。以上どのような形でのチーム編成になるかはわかりませんがJMAT経験者の説明会は絶対必要です。いつ起こるかわからない災害に備えるためにも、東日本大震災の記憶がうすれないうちに、是非お願い致します。